

駐在中に自動車事故に遭ってしまったときの英会話と事故の対処方法

→ 車社会のアメリカにいて、自分のミスでなくとも事故に遭ってしまうこと、事故を目撃することがあるかもしれません。起こってしまった時はパニックになってしまおうと思いますが、事故後の処理もなかなか大変なのです。そして、事故後の対応方法も州や都市によって法律が異なります。ここでは一般的な流れを紹介します。万が一の時、対応がスムーズにできるように参考にして下さい。州によって法律も変わってくるので、“What to do when I have a car accident in California?”などとネットで調べてみましょう。



事故に遭った時は、自分と相手の車のぶつかった箇所の写真を撮っておきましょう。万が一に備えて、ドライブレコーダーはつけておいたほうがよいでしょう。

車事故を起こしてしまったら？3つの流れ

(1) 端っこに寄る(Pull over)

車が動く状態であれば、他の通行の妨げにならないように道路の端っこに寄り(pull over)しましょう。

(2) 警察に連絡する(Report the accident)

けが人がおらず、車も多少凹んではいるが運転に支障がない場合、お互いの情報を交換して終わり、というのが大都市ではあるようです。以下の情報を交換しましょう。

- Full name and contact information(フルネームと連絡先)
- Insurance company and policy number(保険会社とポリシー番号)
- Driver's license and license plate number(免許証とナンバープレートの番号)
- Type, color and model of vehicle(車の車種やメーカー、色)
- Location of accident (事故が起こった場所)

基本は地元の警察に連絡をして来てもらいましょう。旅行中で番号が分からないようでしたら、911に連絡しましょう。警察への連絡は州によっては法律で義務化されています。もちろん大けがをしったり頭を強く打ったなどの場合はすぐに911に電話して下さい。

警察が来た後はそれぞれから事故の状況を聞き、事故報告書(police report/ officer field report)を作成してもらいます。警察車両に印刷機がある場合もありますし、指定されたサイトから自分で印刷することもあります。

(3) 保険会社に連絡をする(Report/ claim the accident)

事故が起こってしまったら、速やかに自分が加入している保険会社に連絡します。車の修理の手配、修理中のレンタカーの手配、相手の保険会社とのやり取りを行ってくれます。レンタカーの手配については、過失が相手側にあった場合、相手の保険会社が手配をしてくれることもあります。



警察からの事故報告書

保険会社に報告後、提出しないと補償額が減ってしまうこともあるようです。大切に保管しましょう。



車に常に置いて置くもの

Driver's license
免許証。これは常に持ち歩いています。

Registration
車の登録証。毎年更新します。

Car insurance identification card
車の保険証。
通常半年に1回更新されるので、新しいものが届いたら忘れずに交換しましょう。事故報告をする際の連絡先も書いてあります。

事故関連で使う英語フレーズ

Did you get hurt? (怪我しましたか?)

Here is my name and phone number in case you need a witness.
(目撃者が必要な時用に、これは私の名前と連絡先です。)

Your car will be totaled.
(あなたの車は廃車になります。)

警察 911 または地元警察へ連絡するときの英会話例 (けが人なしの場合)

You

Operator

あなた

オペレーター

→ I have been in a car accident.

Are there anyone injured?

→ No, it doesn't seem like it.

Where are you at?

→ It's on South Walnut street, near Taco bell.

Okay. I am sending an officer your way.

→自動車事故に遭いました。

誰か怪我をした人はいますか?

→いいえ、大丈夫そうです。

どこで事故が起こりましたか?

→南ウォルナット通りで、タコベルの近くです。

わかりました。警察を送りますね。

警察 911 または地元警察へ連絡するときの英会話例 (けが人ありの場合)

You

Operator

あなた

オペレーター

→ I would like to report a car accident.

Are there anyone injured?

→ Yes, looks like one driver cannot move.

Where is the location?

→ It's on I-65 north, between the exit 5 and 6.

Okay, I am sending emergency vehicles your way.

→自動車事故の報告の為に連絡しました。

誰か怪我をした人はいますか?

→はい、1人運転手が動いていないようです。

場所はどこですか?

→インターステイト65北、出口5と6の間です。

わかりました。救急車両をすぐに送ります。

アメリカで車の免許を取得する方法

免許取得方法は州によって違います。今回は筆者の住むイリノイ州を例に紹介していきます。

<必要書類>行く前に必ずホームページを確認を！時々、変更があります。関門なのが奥様宛の手紙類。家賃や公共料金の申し込みの際に夫婦連名しておくのがベスト！我が家は銀行口座を連名にしてあるので、HPから貯金残高のページをプリントアウトして持っていきます。パスポートはもちろん、I-94をプリントした物、ソーシャルセキュリティナンバーなど証明できそうな物ならなんでも持って行くのが安心です。

<勉強方法>HPまたはDVMオフィスで州のドライバースルールブックを手に入れます。イリノイ州の場合は練習問題が載っているのでそれを中心に勉強。もちろんそれ以外からも出されるので、スクールバス・スクールゾーン、標識、飲酒運転、カーシートについてなどは頻出問題なので要チェック。

<発行手続き>とにかく朝一で行くことをお勧めします。平日週末問わず混んでいる事が多く、昼頃にはその日の受付を終了してしまう店舗もあるようです。最初の受付では「初めて免許を取りに来た」という旨を伝え、持って来た書類をチェックしてもらいます。書類が揃っていた場合、写真撮影へ。日本と違って「Smile！」と言われるので、帽子や眼鏡などを外して満面の笑顔で写りましょう。ここでするサインは免許証にプリントされるので丁寧に！番号を渡されるので座って待ちます。番号を呼ばれたら指示されたブースへ行き、再度書類の確認。視力検査と、薬はやった事あるか？などの質問に答えます。先に支払いを終えたら、ようやくペーパー試験へ！

<ペーパー試験>ペーパー試験とは言え、今ではパソコンで行う試験会場が多いようです。分らなければスキップで次の問題へ。正解数が合格ラインを超えると、途中で終了。無事、実技試験に向かえます。問題の内容は日本の免許試験と比較すると簡単です。不合格だった場合は、再度勉強して出直して来ましょう。

<実技試験>自分が乗ってきた車で行います。出発前に車両保険証やウィンカー作動を確認。試験官には英語が苦手な事を伝えておくと良いかもしれません。試験官の「車線変更して」「次の信号を右折」など端的な指示に従って走行。10分ほど運転して戻り、駐車をするまでが試験です。

<発行>その場で合否が伝えられ、合格だった場合は紙の仮免許証が貰えます。本免許証は2週間ほどで普通郵便で届くのでポストはこまめにチェックを！残念ながら一度で合格できなかった場合、後日受けなおすことが出来るのであきらめずに頑張ってください！